

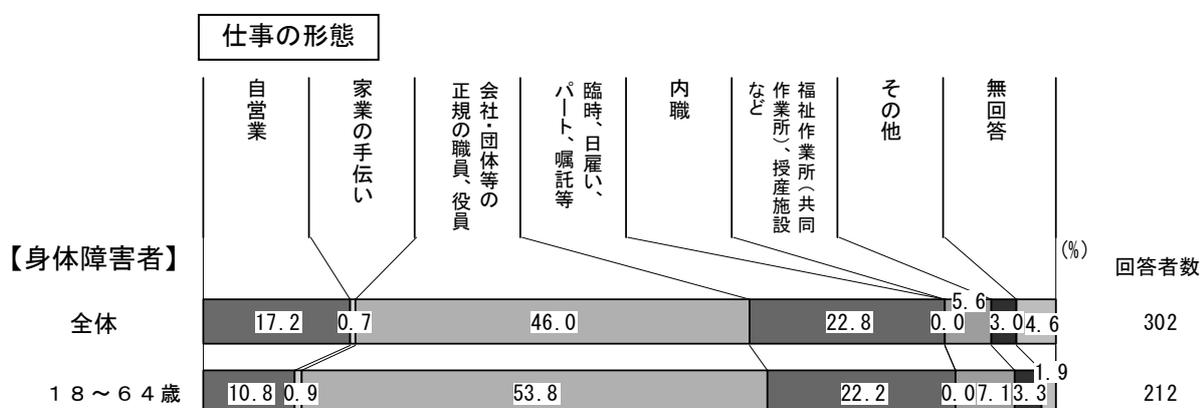
6 雇用・就労について

(1) 就労形態

現在、働いている人の就労形態の内訳をみると、身体障害者では「会社・団体等の正規の職員、役員」(46.0%)が最も多く、知的障害者と精神障害者では「福祉作業所、授産施設等」(49.6%、52.7%)が最も多い。

身体障害者では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 46.0%と最も多く、次いで「臨時、日雇いパート、嘱託等」(22.8%)、「自営業」(17.2%)と続いている。

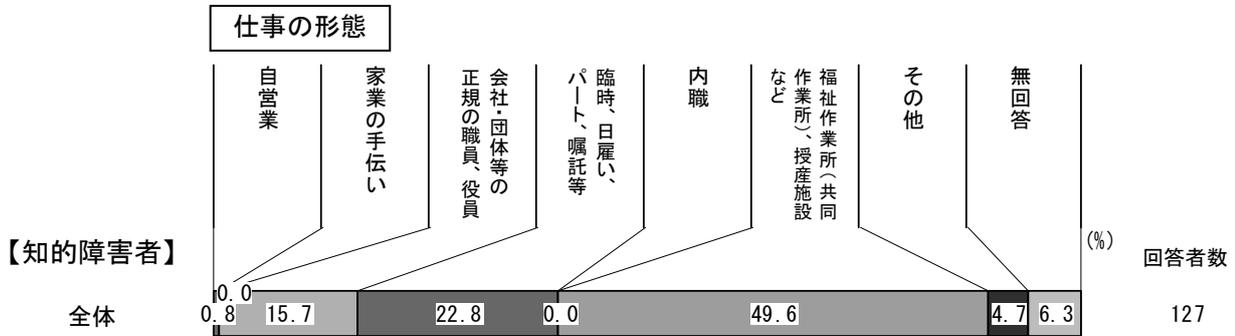
年齢区分別にみると、18～64歳では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 53.8%である。障害の程度別でみると、程度による差はあまり見られない。



		1	2	3	4	5	6	7	
		自営業	家業の手伝い	役員	会社・団体等の正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託等	内職	福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	その他
*問6 障害の程度	n								
0	全体	302	17.2	0.7	46.0	22.8	0.0	5.6	3.0
1	重度(1・2級)	148	16.9	0.0	48.6	20.9	0.0	7.4	2.0
2	中度(3・4級)	92	18.5	1.1	41.3	23.9	0.0	4.3	4.3
3	軽度(5・6級)	50	16.0	2.0	44.0	28.0	0.0	2.0	4.0

知的障害者では、「福祉作業所、授産施設等」が 49.6%と最も多く、次いで「臨時、日雇い、パート、嘱託など」(22.8%)、「会社・団体等の正規の職員、役員」(15.7%)と続いている。

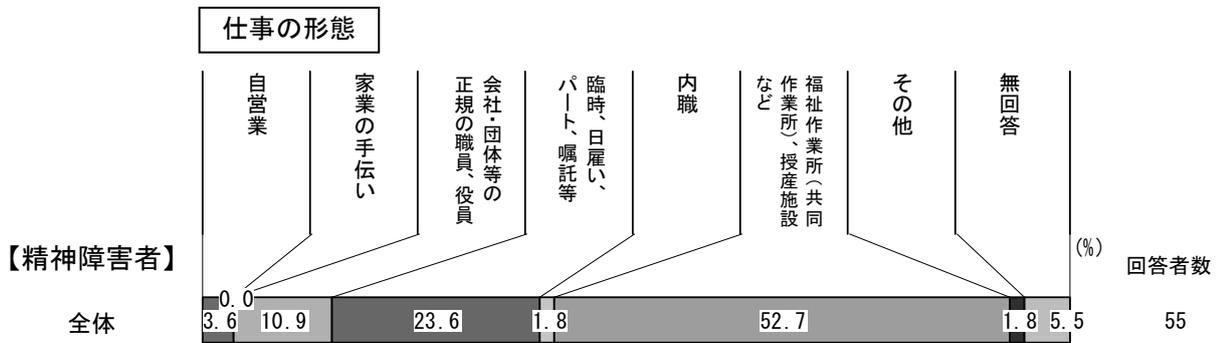
障害の程度別にみると、軽度(4度)では、「福祉作業所、授産施設等」が少なく、「会社・団体等の正規の職員、役員」が多くなっている。



		1	2	3	4	5	6	7	
		自営業	家業の手伝い	会社・団体などの正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託など	内職	福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	その他	
* 問6	障害の程度	n							
0	全体	127	0.8	0.0	15.7	22.8	0.0	49.6	4.7
1	最重度・重度(1・2度)	19	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	68.4	5.3
2	中度(3度)	49	2.0	0.0	8.2	22.4	0.0	65.3	0.0
3	軽度(4度)	56	0.0	0.0	25.0	28.6	0.0	32.1	8.9

精神障害者では、「福祉作業所、授産施設等」が 52.7%と最も多く、次いで「臨時、日雇いパート、嘱託等」(23.6%)、「会社・団体等の正規の職員、役員」(10.9%)と続いている。

障害の程度別にみると、3級では、「福祉作業所、授産施設等」が少なく、「会社・団体等の正規の職員、役員」や「臨時、日雇いパート、嘱託等」が多い。



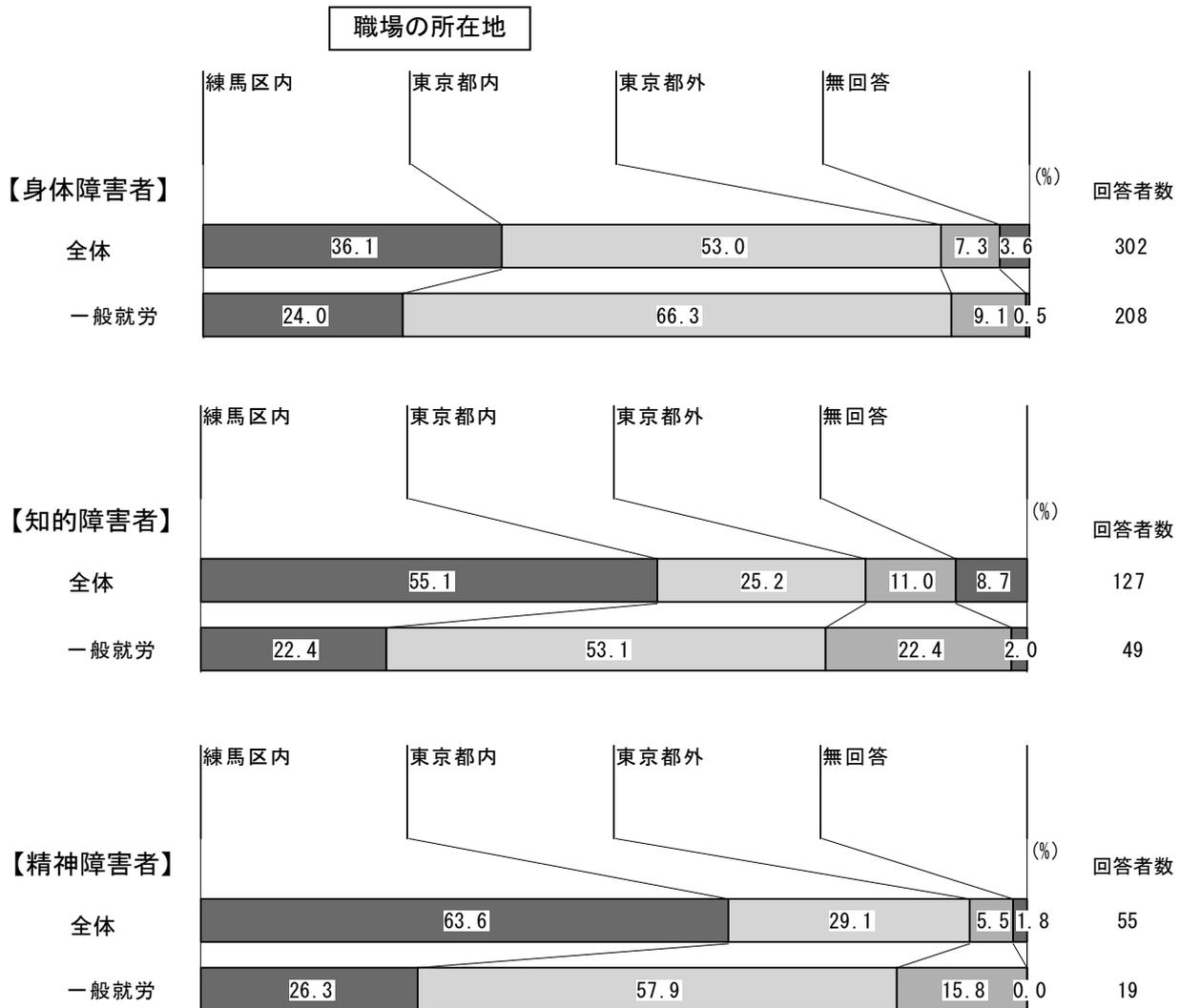
		1	2	3	4	5	6	7	
		自営業	家業の手伝い	会社・団体などの正規の職員、役員	臨時、日雇い、パート、嘱託など	内職	福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	その他	
*問6 障害の程度		n							
0	全体	55	3.6	0.0	10.9	23.6	1.8	52.7	1.8
1	1級	4	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	
2	2級	29	0.0	0.0	6.9	17.2	3.4	65.5	0.0
3	3級	22	9.1	0.0	18.2	36.4	0.0	31.8	4.5

(2) 職場の所在地

職場の所在地は、身体障害者では、「東京都内(練馬区を除く)」が 53.0%と最も多く、次いで「練馬区内」(36.1%)となっている。仕事の形態のうち、一般就労(「会社・団体等の正規の職員、役員」「臨時、日雇い、パート、嘱託等」の合計)では、「東京都内」が 66.3%である。

知的障害者では、「練馬区内」が 55.1%と最も多いが、一般就労では、「東京都内」が 53.1%である。

精神障害者では、「練馬区内」が 63.6%と最も多いが、一般就労では、「東京都内」が 57.9%である。



(3) 1年間の就労収入

1年間の仕事による収入は、身体障害者では、「100万円～400万円未満」が39.7%を占めている。

知的障害者では、「5万円未満」が16.5%、「5万～20万円未満」が34.6%となっており、20万円未満の収入の人が51.1%を占めている。なお、「福祉作業所、授産施設等」で働いている人のみを見ると、年間の就労収入20万円未満が8割を超えていることがわかる。

精神障害者では、「5万円未満」が32.7%、「5万～20万円未満」が18.2%となっており、20万円未満の収入の人が5割を占めている。

		5万円未満	5万円～20万円未満	20万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～400万円未満	400万円～700万円未満	700万円以上	収入はない	無回答
身体障害者	(n=302)	3.6%	6.6%	6.0%	10.9%	39.7%	16.9%	8.6%	2.3%	5.3%
知的障害者	(n=127)	16.5%	34.6%	5.5%	15.0%	19.7%	0.8%	—	0.8%	7.1%
精神障害者	(n=55)	32.7%	18.2%	7.3%	3.6%	23.6%	7.3%	—	3.6%	3.6%

【「福祉作業所、授産施設等」で働いている人のみの就労収入】

		5万円未満	5万円～20万円未満	20万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～400万円未満	400万円～700万円未満	700万円以上	収入はない	無回答
身体障害者	(n=17)	47.1%	35.3%	17.6%	—	—	—	—	—	—
知的障害者	(n=63)	31.7%	54.0%	4.8%	4.8%	—	—	—	1.6%	3.2%
精神障害者	(n=29)	55.2%	24.1%	13.8%	—	—	—	—	6.9%	—

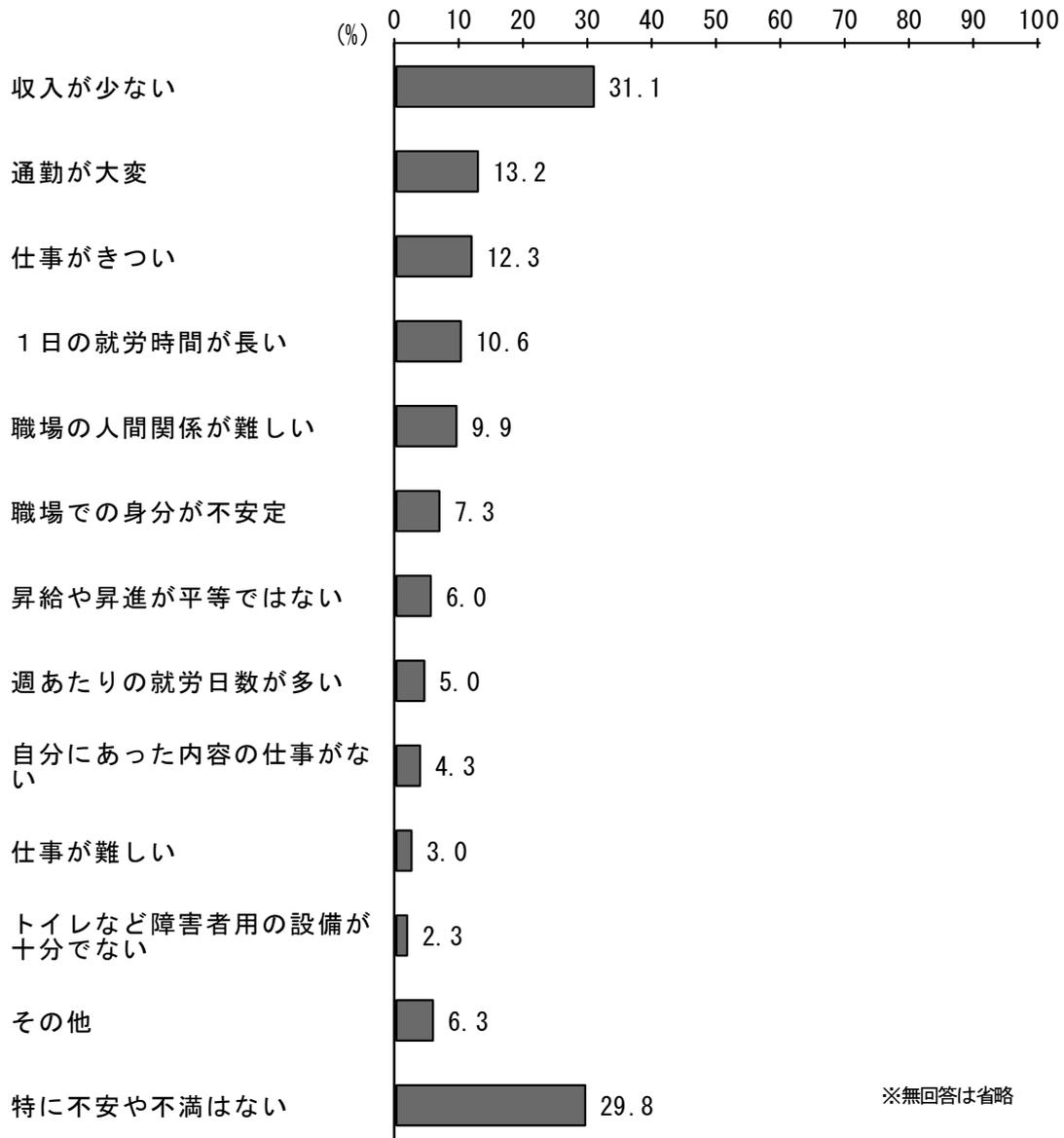
(4) 仕事をする上での不安や不満(複数回答)

仕事をする上での不安や不満としては、いずれの障害でも「収入が少ない」ことが最も多くあげられている。次いで多い項目では、身体障害者では「通勤が大変」、知的障害者では「職場の人たちとうまくいかない」、精神障害者では「職場の人間関係が難しい」ことがあげられている。

身体障害者では「収入が少ない」ことをあげる人が31.1%と最も多くなっている。なお、29.8%は「特に不安や不満はない」と回答している。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【身体障害者】 全体 n=302

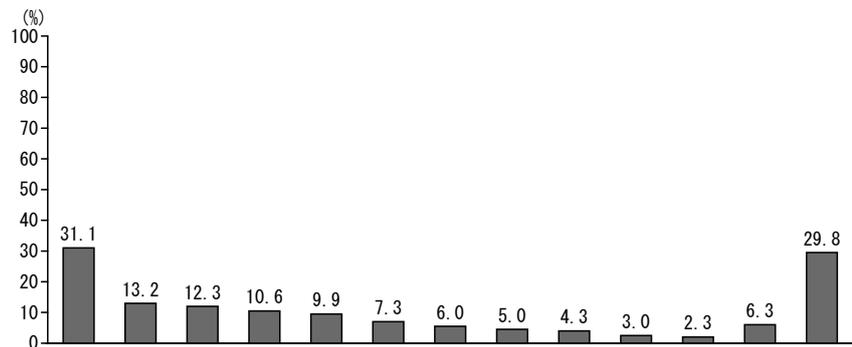


障害の程度別にみると、程度が重いほど、「収入が少ない」や「仕事がつい」が多くなっており、また、軽くなるほど、「通勤が大変」が多くなっている。

就労形態別にみると、「会社・団体等の正規の職員、役員」や「臨時、日雇い、パート、嘱託」の場合は、約2割の人が「通勤が大変」なことをあげている。また、「臨時、日雇い、パート、嘱託」では、「職場での身分が不安定」をあげる人も17.4%みられる。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【身体障害者】 全体 n=302



* 問6 障害の程度	n	1	11	3	5	7	8	10	6	4	2	9	12	13
		収入が少ない	通勤が大変	仕事がつい	1日の就労時間が長い	職場の人間関係が難しい	職場での身分が不安定	昇給や昇進が平等ではない	週あたりの就労日数が多い	自分にあった内容の仕事がない	仕事がつい	トイレなど障害者用の設備が十分でない	その他	特に不安や不満はない
0 全体	302	31.1	13.2	12.3	10.6	9.9	7.3	6.0	5.0	4.3	3.0	2.3	6.3	29.8
1 重度(1・2級)	148	35.8	11.5	12.8	10.8	12.2	7.4	6.8	5.4	4.7	2.7	1.4	4.1	29.1
2 中度(3・4級)	92	28.3	14.1	12.0	12.0	5.4	5.4	4.3	2.2	2.2	3.3	5.4	7.6	29.3
3 軽度(5・6級)	50	24.0	18.0	10.0	6.0	12.0	10.0	8.0	10.0	6.0	4.0	0.0	10.0	34.0

【仕事の形態別】

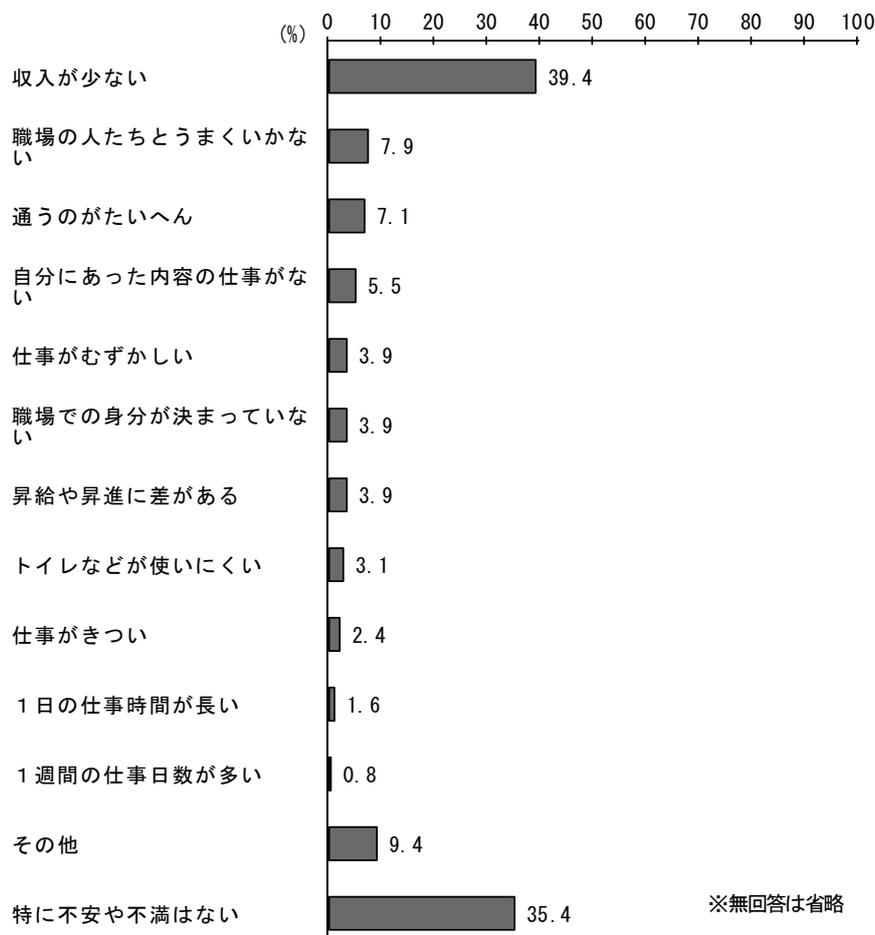
1 自営業	52	50.0	0.0	13.5	11.5	0.0	1.9	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	32.7
3 会社・団体等の正規の職員、役員	139	26.6	19.4	13.7	13.7	14.4	5.0	9.4	6.5	3.6	3.6	1.4	6.5	29.5
4 臨時、日雇い、パート、嘱託等	69	33.3	17.4	13.0	7.2	13.0	17.4	7.2	2.9	10.1	1.4	0.0	5.8	29.0
6 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	17	35.3	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	41.2

※ 上記の就労形態以外は省略

知的障害者では、「収入が少ない」が39.4%と最も多く、次いで「職場の人たちとうまくいかない」(7.9%)、「通うのがたいへん」(7.1%)と続いている。なお、35.4%は「特に不安や不満はない」と回答している。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【知的障害者】全体 n=127

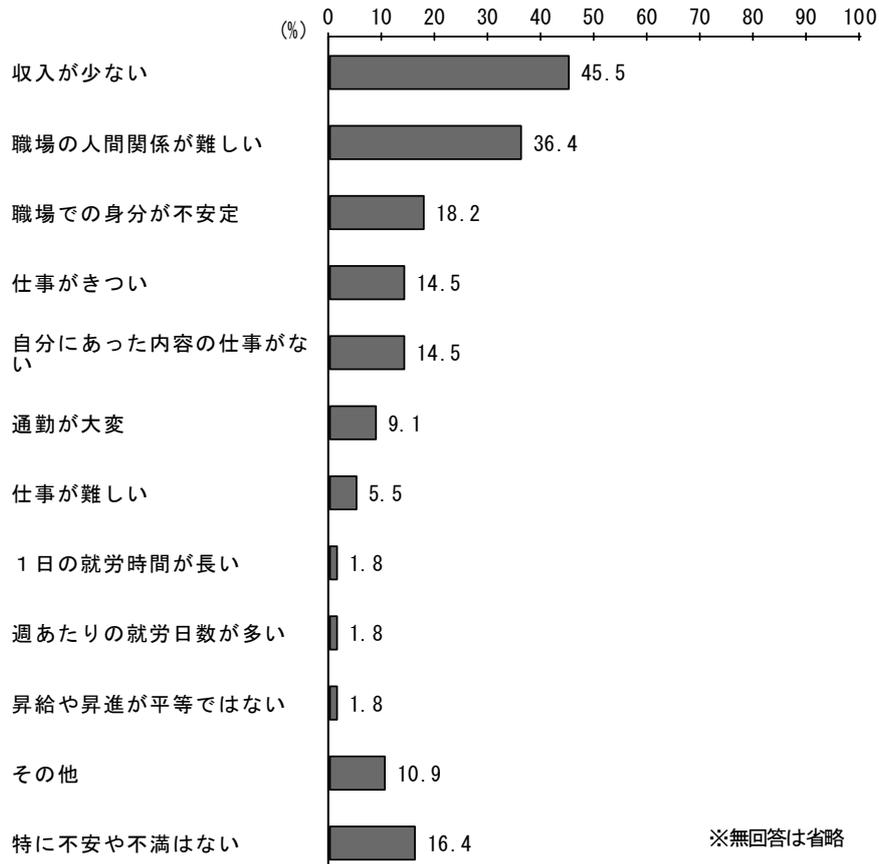


* 問20 仕事の形態【ベース:就労者】	n	1	7	11	4	2	8	10	9	3	5	6	12	13
		収入が少ない	ない 職場の人たちとうまくいかない	通うのがたいへん	ない 自分にあった内容の仕事がない	仕事がむずかしい	ない 職場での身分が決まっていない	昇給や昇進に差がある	トイレなどが使いにくい	仕事がきつい	1日の仕事時間が長い	1週間の仕事日数が多い	その他	特に不安や不満はない
0 全体	127	39.4	7.9	7.1	5.5	3.9	3.9	3.9	3.1	2.4	1.6	0.8	9.4	35.4
3 会社・団体などの正規の職員、役員	20	31.6	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	47.4
4 臨時、日雇い、パート、嘱託など	29	49.0	2.0	10.2	4.1	6.1	2.0	0.0	4.1	2.0	4.1	2.0	8.2	28.6
6 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	63	33.9	16.1	5.4	7.1	3.6	7.1	8.9	0.0	3.6	0.0	0.0	10.7	37.5

精神障害者では、「収入が少ない」が 45.5%と最も多く、次いで「職場の人間関係が難しい」(36.4%)、「職場での身分が不安定」(18.2%)と続いている。

仕事をする上での不安や不満(複数回答)

【精神障害者】全体 n=55



* 問 18 仕事の形態【ベース:就労者】	n	1	7	8	3	4	10	2	5	6	9	11	12
		収入が少ない	職場の人間関係が難しい	職場での身分が不安定	仕事がつい	ない 自分にあった内容の仕事がない	通勤が大変	仕事難しい	1日の就労時間が長い	い 週あたりの就労日数が多い	昇給や昇進が平等ではない	その他	特に不安や不満はない
0 全体	55	45.5	36.4	18.2	14.5	14.5	9.1	5.5	1.8	1.8	1.8	10.9	16.4
3 会社・団体などの正規の職員、役員	6	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3
4 臨時、日雇い、パート、嘱託など	13	61.5	53.8	46.2	23.1	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0
6 福祉作業所(共同作業所)、授産施設など	29	44.8	34.5	6.9	6.9	17.2	10.3	3.4	0.0	0.0	0.0	6.9	17.2

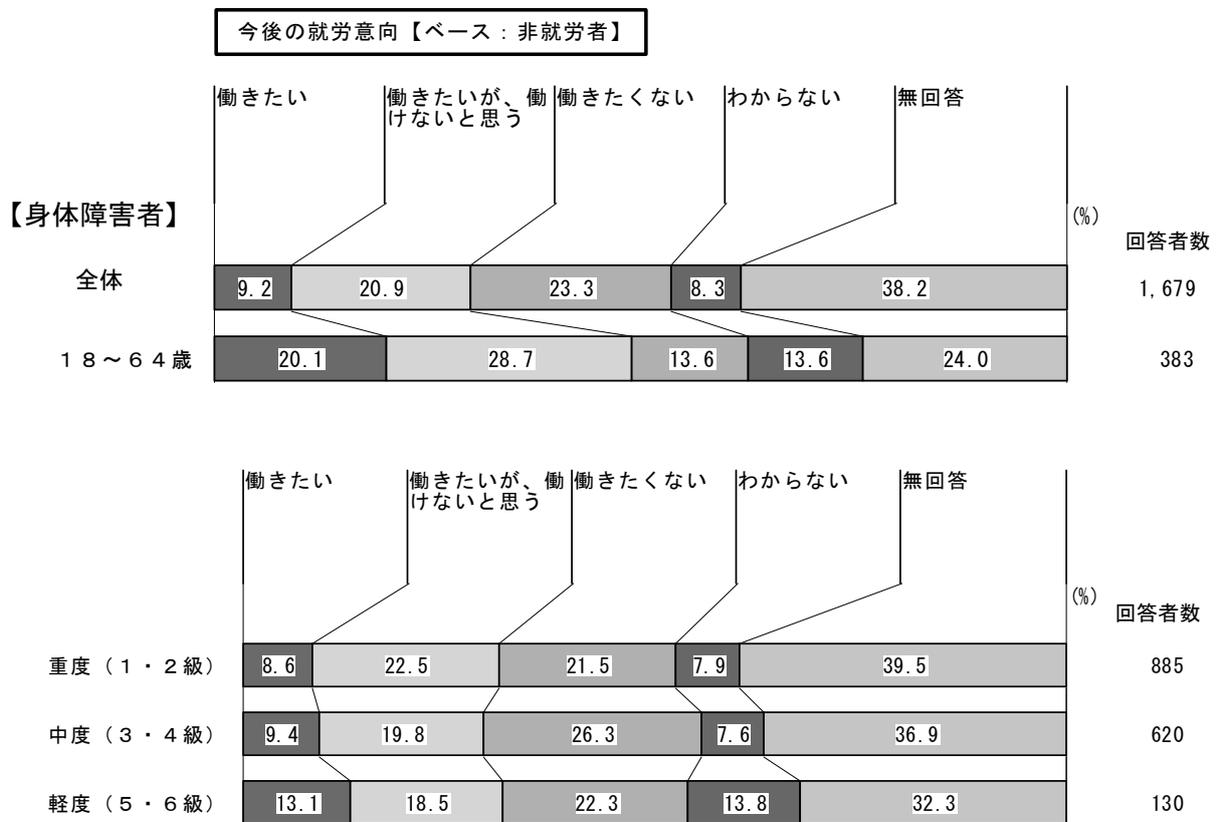
(5) 今後の就労意向

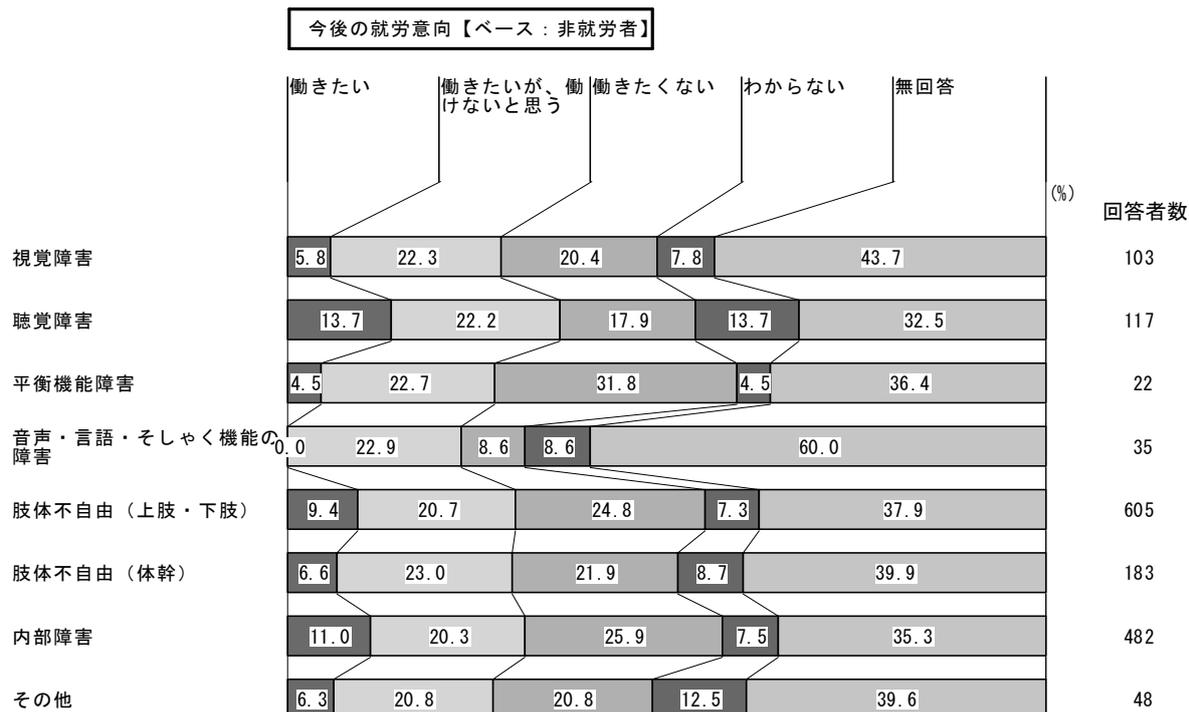
現在、働いていないが、今後は働きたいと思っている人の割合は、身体障害者の 9.2%、知的障害者では 20.9%、精神障害者では 23.2%である。

身体障害者では「働きたい」と思う人が 9.2%、「働きたいが、働けないと思う」人が 20.9%である。

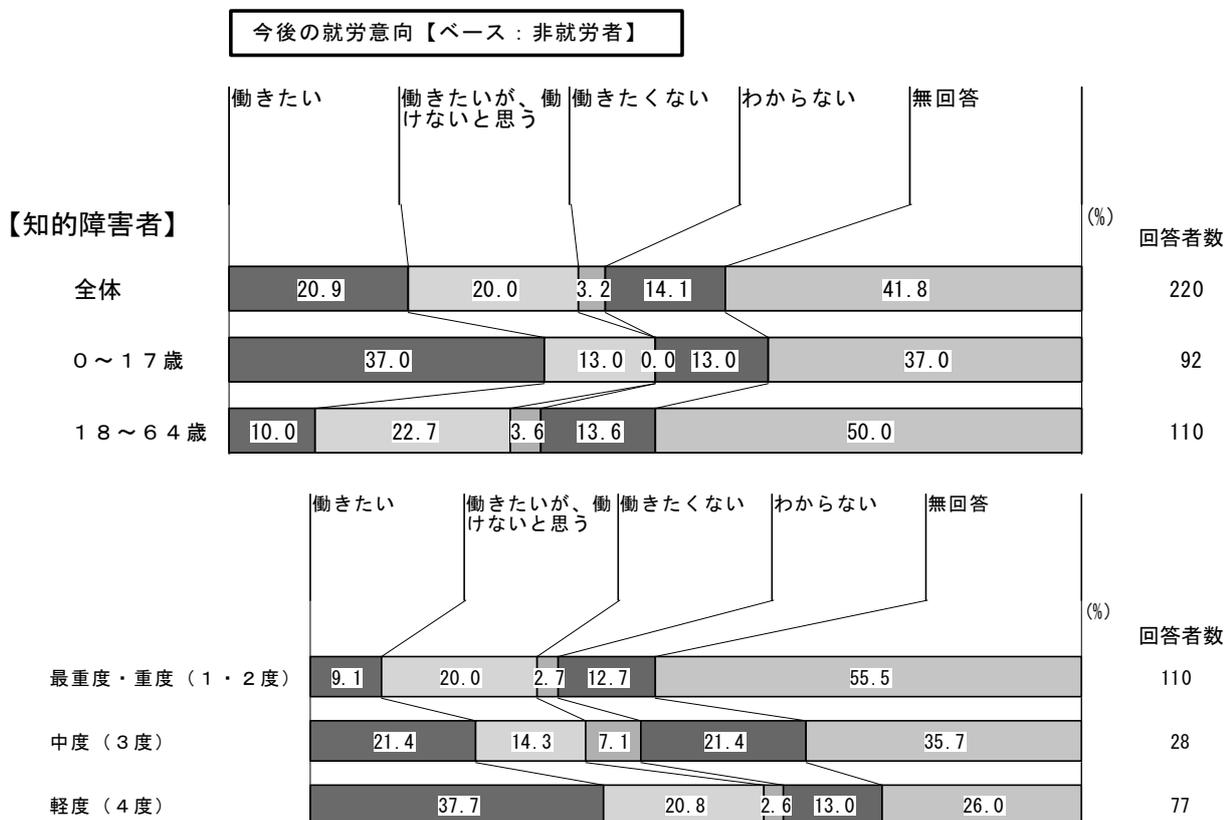
年齢区分別でみると、18～64 歳では 20.1%が「働きたい」、28.7%が「働きたいが、働けないと思う」と回答している。

障害の程度別でみると、程度が軽くなるほど、「働きたい」という意向は多くなっている。障害の種類別でみると、「聴覚障害」、「内部障害」では「働きたい」が 1 割以上と多くなっている。

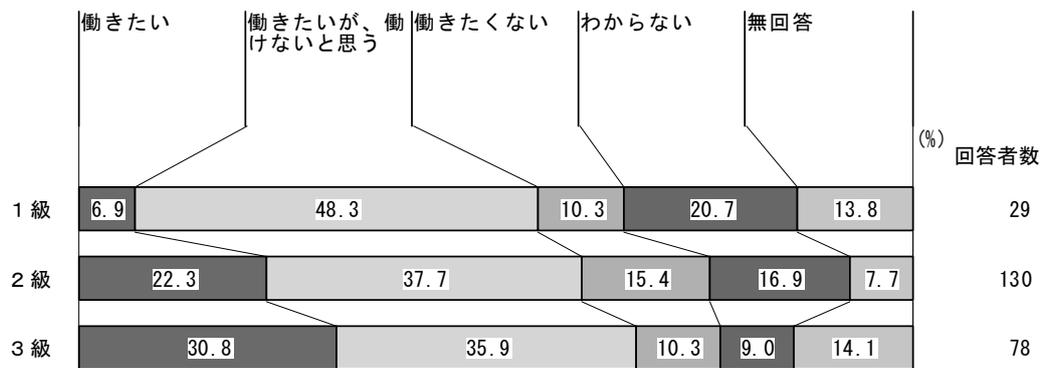
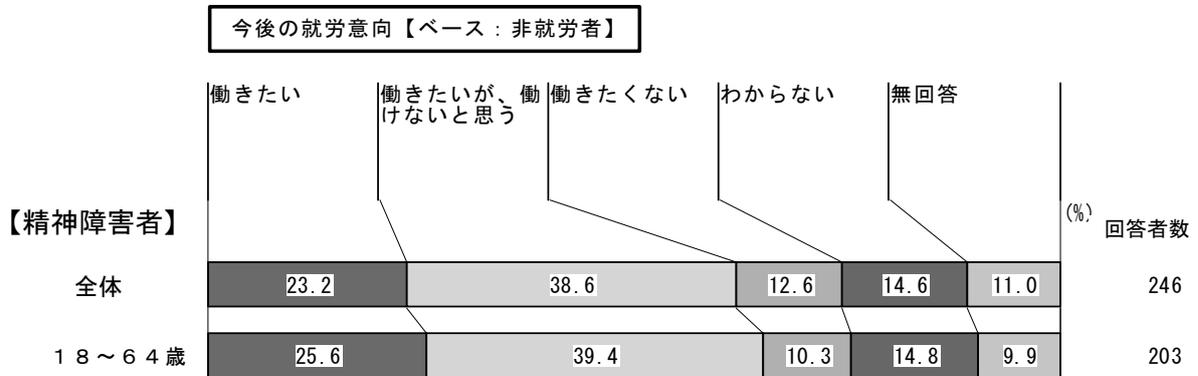




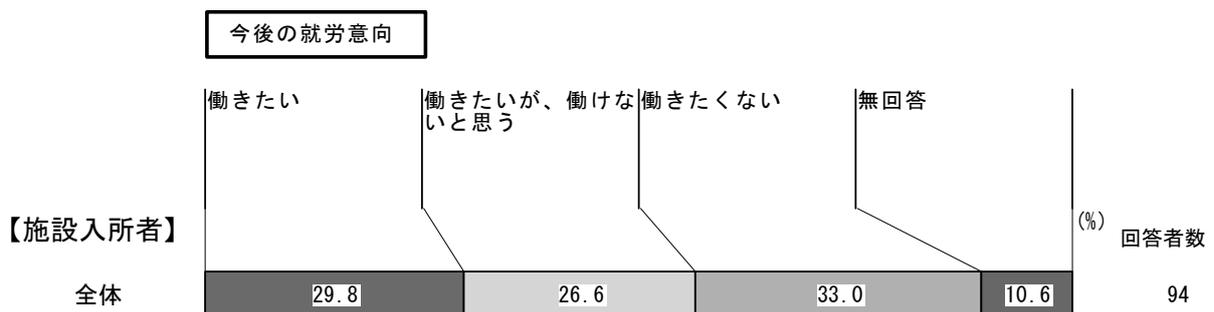
知的障害者では、「働きたい」が20.9%、「働きたいが、働けないと思う」が20.0%である。
 年齢区分別でみると、0～17歳では「働きたい」が37.0%と多い。
 障害の程度別でみると、程度が軽くなるほど「働きたい」という意向は多く、軽度（4度）では37.7%となっている。



精神障害者では、「働きたい」が23.2%、「働きたいが、働けないと思う」が38.6%である。
 障害の程度別でみると、程度が軽いほど、「働きたい」は多くなる傾向が見られ、3級では30.8%である。



施設入所者では、「働きたい」が29.8%、「働きたいが、働けないと思う」が26.6%である。

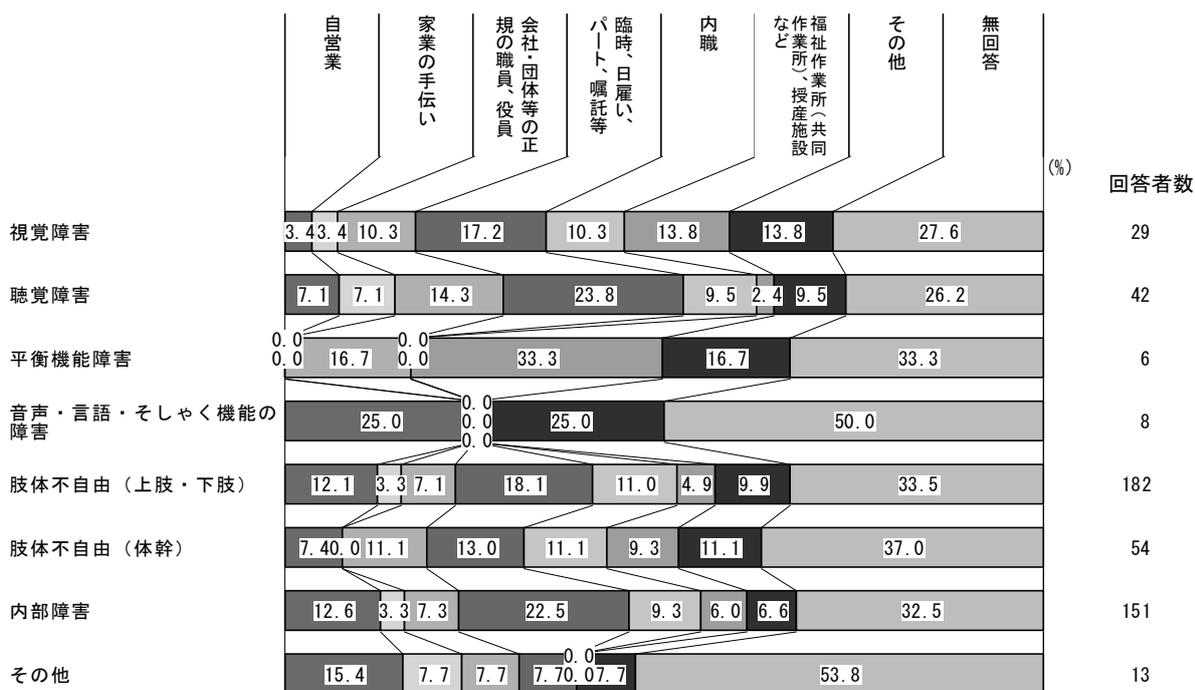
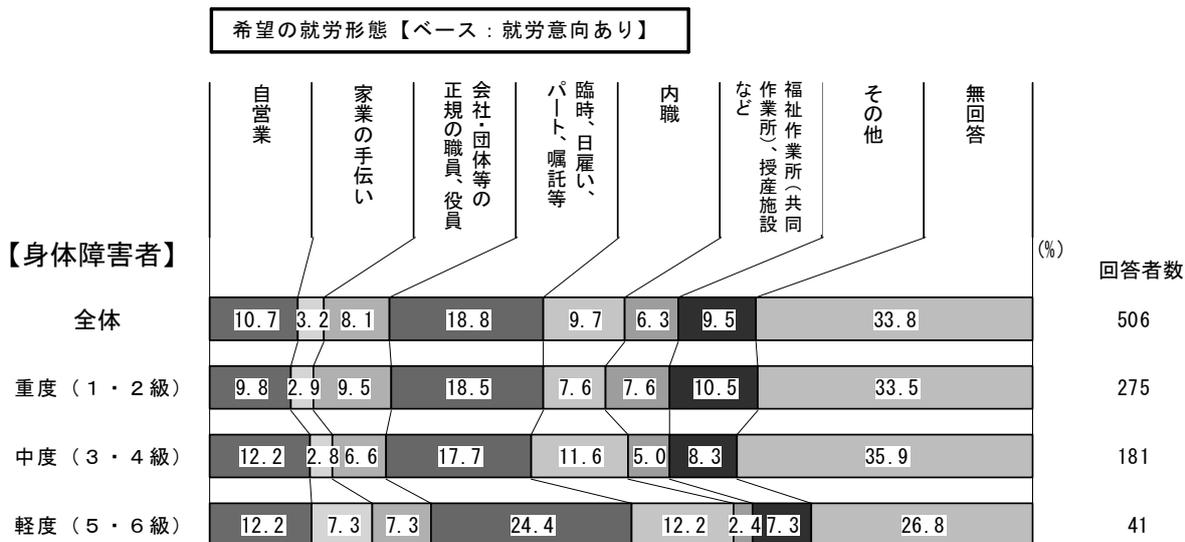


(6) 働いてみたいと思う仕事の形態

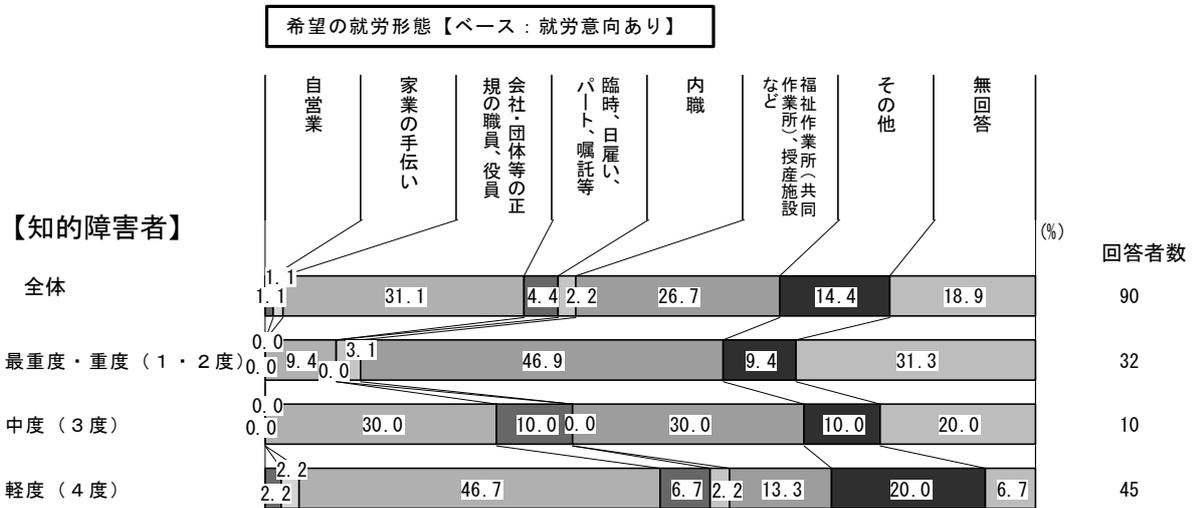
現在働いていない人で、今後働きたいと思っている人の希望する仕事の形態は、身体障害者、精神障害者では「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が最も多く、知的障害者では「会社・団体等の正規の職員、役員」が最も多くなっている。

身体障害者では、「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が 18.8%と最も多く、「自営業」が 10.7%で続いている。

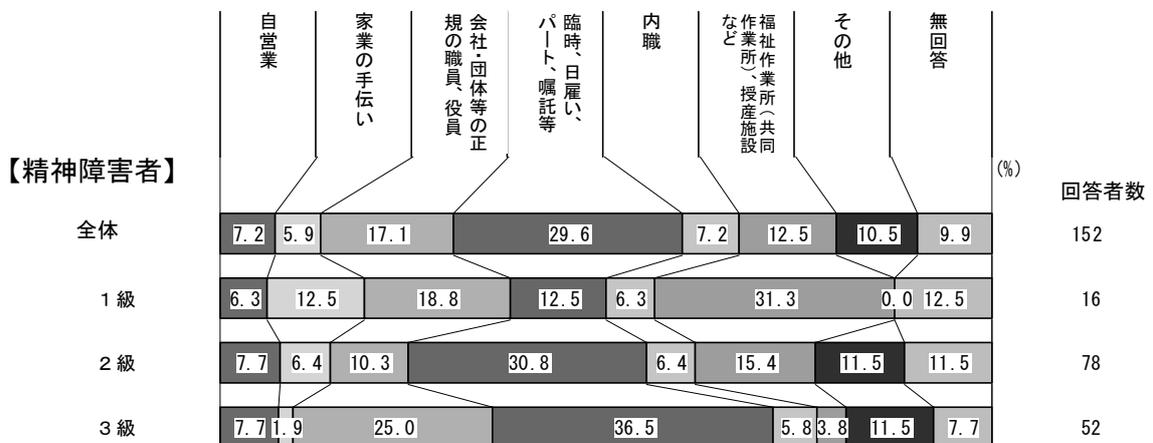
障害の程度別でみると、軽度(5・6級)で、「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が多くなっている。



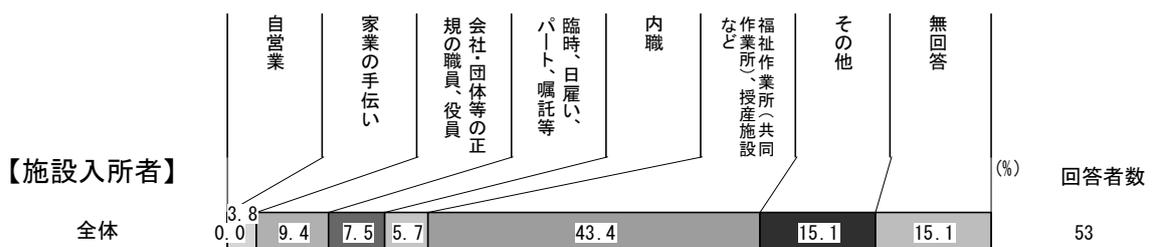
知的障害者では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 31.1%、「福祉作業所、授産施設など」が 26.7%で続く。障害の程度別でみると、軽度(4度)では、「会社・団体等の正規の職員、役員」が 46.7%と多い。



精神障害者では、「臨時、日雇い、パート、嘱託等」が 29.6%と最も多く、次いで「会社・団体等の正規の職員、役員」が 17.1%で続いている。障害の程度別でみると、「家業の手伝い」や「福祉作業所、授産施設など」は程度が軽くなるほど、少なくなっている。



施設入所者では、「福祉作業所、授産施設など」が 43.4%、次いで「その他」が 15.1%である。



(7)「働きたいが、働けないと思う」理由（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

【身体障害者】

- ・障害者と分かると採用を断られるから。
- ・障害のため休みがちになり、周囲に迷惑をかけるから。

【知的障害者】

- ・自分に協調性がないから。
- ・周囲とのコミュニケーションが困難だから。
- ・障害について理解してもらえないか不安だから。
- ・高校を卒業する頃には福祉作業所の定員がいっぱいで、行き先がないと思うから。

【精神障害者】

- ・症状が安定しないから。
- ・何度も失敗してしまったため、不安だから。
- ・求職がないから。

【施設入所者】

- ・コミュニケーションが困難だから。

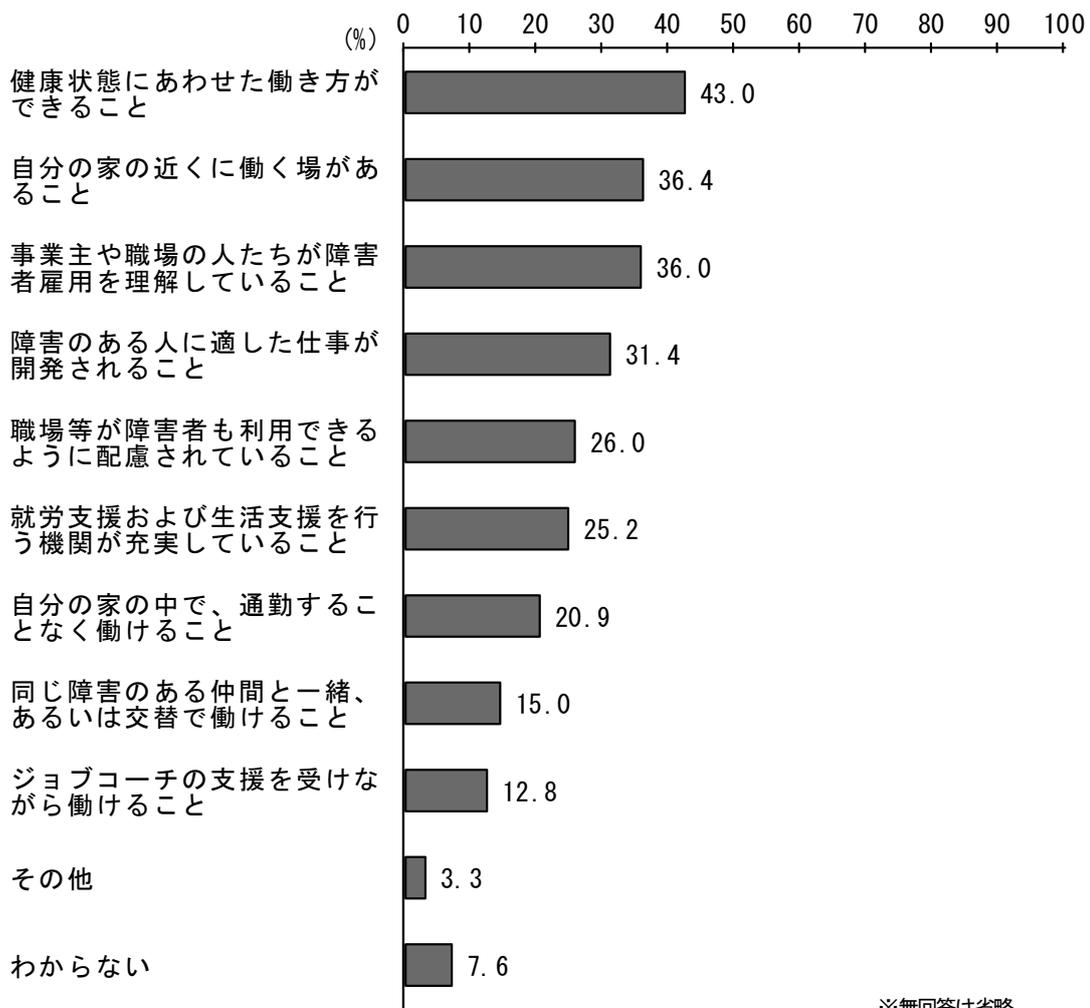
(8) 働くために整っていることが大切だと思う環境（複数回答）

障害のある人が働くために大切な環境としては、身体障害者と精神障害者では「健康状態にあわせた働き方ができること」(43.0%、57.6%)が最も多くあげられ、知的障害者では「事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること」(48.0%)、施設入所者では「障害のある人に適した仕事があること」(52.1%)が最も多くあげられている。

身体障害者では、「健康状態にあわせた働き方ができること」をあげる人が43.0%と最も多く、次いで「自分の家の近くに働く場があること」(36.4%)、「事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること」(36.0%)と続いている。

働くために整っていることが大切だと思う環境（複数回答）

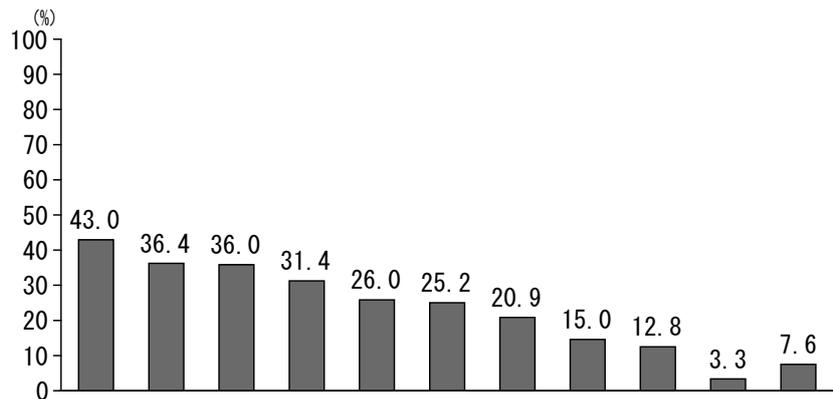
【身体障害者】 全体 n=2,064



障害の種類別でみると、視覚障害や聴覚障害では「事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること」が最も多く、音声・言語・そしゃく機能の障害では、「障害のある人に適した仕事が開発されること」が最も多くなっている。

障害者が働く為の環境で大切だと思うこと(複数回答)

【身体障害者】 全体 n=2,064



* 問6 障害の程度	n	3	1	6	4	7	5	2	9	8	10	11
		健康状態にあわせた働きができること	自分の家の近くに働く場があること	事業主や職場の人たちが障害者雇用を理解していること	障害のある人に適した仕事が開発されること	職場等が障害者も利用できるように配慮されていること	就労支援および生活支援を行う機関が充実していること	自分の家の中で、通勤することなく働けること	あるいは交替で働けること	同じ障害のある仲間と一緒に働けること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	その他
0 全体	2,064	43.0	36.4	36.0	31.4	26.0	25.2	20.9	15.0	12.8	3.3	7.6
1 重度(1・2級)	1,074	43.7	35.3	36.4	31.5	27.1	26.4	21.4	16.4	13.6	3.3	7.8
2 中度(3・4級)	739	42.2	38.4	34.2	30.9	24.6	23.7	20.0	13.0	11.6	3.9	7.6
3 軽度(5・6級)	189	47.6	40.2	42.9	38.6	26.5	28.6	22.8	12.2	13.8	2.6	7.9

【身体障害の種類別】

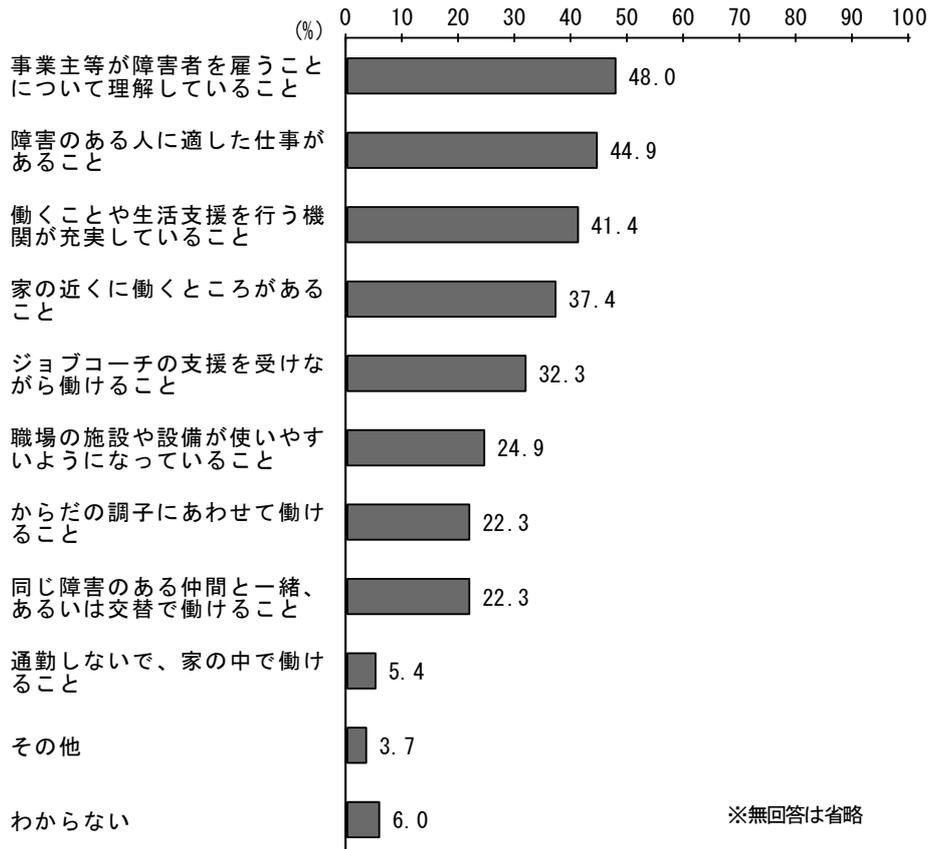
障害の種類	n	3	1	6	4	7	5	2	9	8	10	11
1 視覚障害	133	36.8	35.3	40.6	39.8	27.1	27.1	16.5	15.0	11.3	2.3	9.0
2 聴覚障害	158	37.3	30.4	43.0	38.0	23.4	22.8	17.7	20.3	15.8	4.4	6.3
3 平衡機能障害	26	42.3	26.9	23.1	19.2	19.2	15.4	19.2	11.5	3.8	3.8	7.7
4 音声・言語・そしゃく機能の障害	41	31.7	29.3	24.4	39.0	24.4	26.8	22.0	19.5	19.5	4.9	2.4
5 肢体不自由(上肢・下肢)	723	44.5	39.3	38.3	33.3	29.7	27.1	23.9	13.8	14.0	2.9	7.2
6 肢体不自由(体幹)	215	40.5	34.4	35.3	34.9	31.6	31.6	20.0	14.0	14.9	2.3	7.0
7 内部障害	601	49.8	38.8	34.8	27.6	22.1	23.6	21.1	15.0	10.6	4.3	8.3
8 その他	59	35.6	30.5	30.5	28.8	28.8	20.3	11.9	16.9	15.3	5.1	13.6

知的障害者では、「事業主や職場の人たちが障害者を雇うことについて理解していること」が48.0%と最も多く、次いで「障害のある人に適した仕事があること」(44.9%)、「働くことや生活支援を行う機関が充実していること」(41.4%)と続いている。

障害の程度別でみると、中度(3度)では「障害のある人に適した仕事があること」が最も多い。

働くために整っていることが大切だと思う環境(複数回答)

【知的障害者】全体 n=350



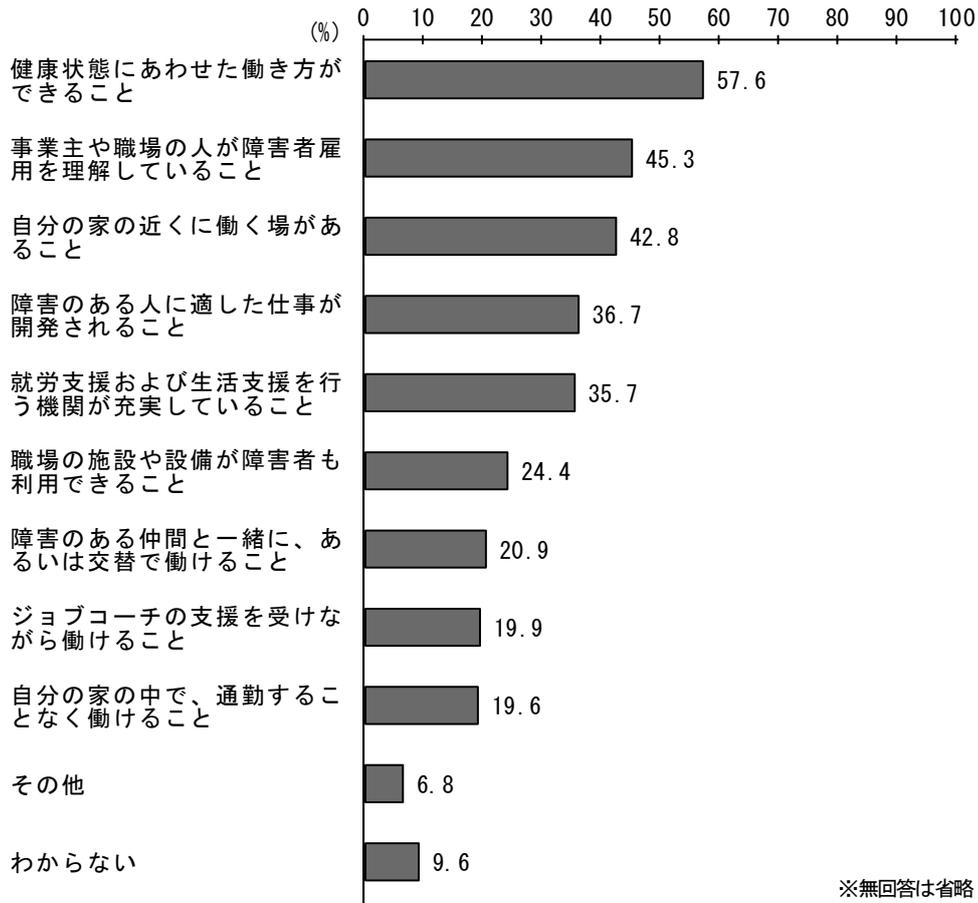
* 問6 障害の程度	n	6	4	5	1	8	7	3	9	2	10	11
		事業主等が障害者を雇うことについて理解していること	障害のある人に適した仕事があること	働くことや生活支援を行う機関が充実していること	家の近くに働くところがあること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	職場の施設や設備が使いやすいようになっていること	からだの調子にあわせて働けること	同じ障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	通勤しないで、家の中で働けること	その他	わからない
0 全体	350	48.0	44.9	41.4	37.4	32.3	24.9	22.3	22.3	5.4	3.7	6.0
1 最重度・重度(1・2度)	129	36.4	41.1	41.1	34.9	26.4	26.4	20.2	17.1	3.9	3.9	5.4
2 中度(3度)	77	55.8	58.4	49.4	42.9	36.4	22.1	15.6	26.0	2.6	1.3	3.9
3 軽度(4度)	136	55.1	41.2	37.5	36.8	36.8	24.3	27.9	25.0	8.8	5.1	6.6

精神障害者では、「健康状態にあわせた働き方ができること」が 57.6%と最も多く、次いで「事業主や職場の人たちが、障害者雇用について十分理解していること」(45.3%)、「自分の家の近くに働く場があること」(42.8%)と続いている。

障害の程度別でみると、1級では「健康状態にあわせた働き方ができること」がやや少なくなっている。

働くために整っていることが大切だと思う環境(複数回答)

【精神障害者】全体 n=311

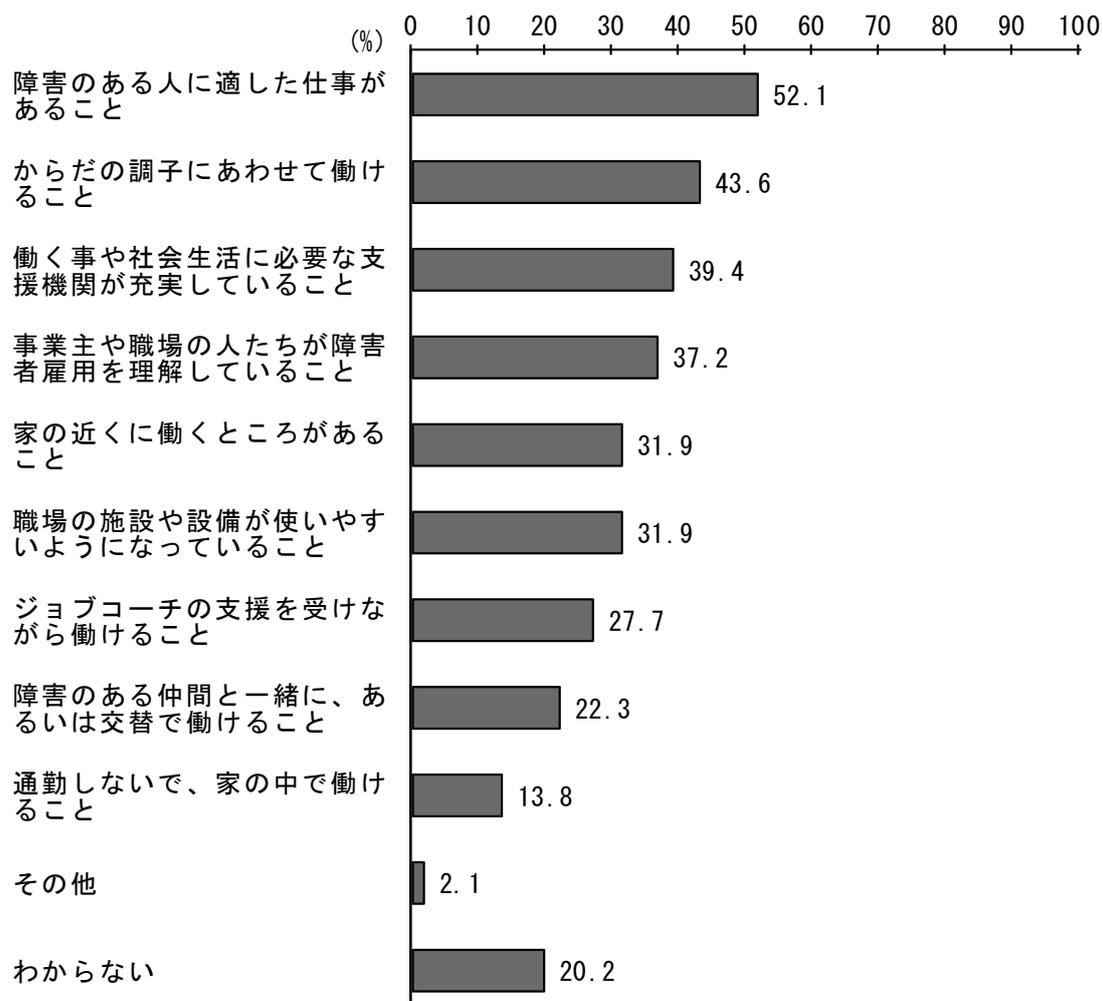


* 問6 障害の程度	n	3	6	1	4	5	7	9	8	2	10	11
		健康状態にあわせた働き方ができること	事業主や職場の人が障害者雇用を理解していること	自分の家の近くに働く場があること	障害のある人に適した仕事が開発されること	就労支援および生活支援を行う機関が充実していること	職場の施設や設備が障害者も利用できること	障害のある仲間と一緒に、あるいは交替で働けること	ジョブコーチの支援を受けながら働けること	自分の家の中で、通勤することなく働けること	その他	わからない
0 全体	311	57.6	45.3	42.8	36.7	35.7	24.4	20.9	19.9	19.6	6.8	9.6
1 1級	38	39.5	34.2	34.2	34.2	34.2	23.7	18.4	21.1	15.8	5.3	21.1
2 2級	162	63.0	45.1	46.9	38.9	39.5	30.2	24.1	21.6	24.1	4.3	7.4
3 3級	101	58.4	51.5	41.6	34.7	31.7	17.8	17.8	17.8	13.9	8.9	9.9

施設入所者では、「障害のある人に適した仕事があること」が 52.1%と最も多く、次いで「からだの調子にあわせて働けること」(43.6%)、「働く事や社会生活に必要な支援機関が充実していること」(39.4%)と続いている。

働くために整っていることが大切だと思う環境(複数回答)

【施設入所者】 全体 n=94



※無回答は省略